令和４年 12 月 22日（木）
第21号

栄小研究部通信

一人一実践：算数科【３年１組　平野先生】

授業参観シートより，先生たちの声から，振り返り！！

①評価規準の設定について

○「～をもとにして」「～こ分」という考え方が出てきていました。図と式をつなげて考えることができていたように感じました。

○「1/5をもとにする」という言葉が序盤から使っていたことに，とっても驚きました。すごい！前時が浸透し，よくのみ込めていると感じました。

○明確で，理解しやすい規準だと思います。定着度，到達目標を捉えやすいと思います。

○説明で言語化が難しいが，道筋が明確で多くの子が言語化できていました。

○子どもたちが自分のできる方法で説明できていたのでよかったと思います。

○「説明する」ことに重点を置いた授業の組み立てとなっており，より深い理解につながっていました。

○「1/5の４個分で～」というように，単位分数の何個分に着目している子どもが多く，指導の成果を感じました。

②思考力・判断力・表現力を育む ICT の活用について

○ICT を活用することで，自分と友達の考えを比較しやすかったと思います。答えは出ているが考えをうまく説明できていない子もいたが，交流することで理解できたり，わかっていたことがわかるようになったりすると思いました。

○実際の紙で操作し，ごちゃごちゃなったり，操作が煩雑になってしまったりしないのが，アプリの強みだなと思います。操作のことを考えて作るため，最初から見えすぎちゃうというのが弱点かなと思います。前時がすごく浸透しているように見えたので，１の正方形の枠を除いた教材提示をしても，「あっ，2/4じゃないの？」なんて困難が出てきて，単位分数の重要性により視点がいくかなと思いました。

○L マス図を動かせたり，ヒントページがあったりなど，Jamboard が効果的に活用されていました。

○Jamboard，Sky の活用で児童の思考が，簡単に共有できることは，うまく文章化できていない子どもたちにも，明確に伝わっていました。

○図だったり，ふせんだったり、手書きだったり…と説明をするために，ICT が手立てになっていました。ペアで交流の際も自然と画面を見せ合っていてよかったです。

○子どもの思考を焦点化させる Jamboard の構成になっていたと思います。

○Jamboard の操作により，１の５等分や，分子に着目して整数のひき算をすればよいことが理解できていました。

○自分の考えを「手書きでもふせんでも」とやりやすい方法で選べるのがよかったと思います。

○Sky は，友達の考えをみんなで見るのに使いやすいと思いました。画面ストップを使わずに大型テレビに注目させると，やはり途中で自分の画面をいじってしまう子が多いので，その子の画面を全員に送るのもいいと思いました。

○図を使って答えを求めることができ，どの子も主体的に取り組んでいました。言葉だけだとうまく説明できない子も，画面を見せながら友達と交流するなど，いい手段になっていたと思います。

③振り返りでアウトプットする方法の工夫について

〇本時のように，振り返りの時間がなかなか確保できない時に，番号で振り返りを行うだけで，学び方の共有になって，効果的だと思いました。
〇図と式，数字と量のリンクがされていて流れの見える素晴らしい板書，とっても勉強になりました。子どもたちの振り返りの場面で，板書がとても大切だなと改めて感じました。

〇振り返りを番号で挙手する方法は回答しやすいと思いました。
〇最後の場面での大判のチェックシートの活用は，子どもたちの自己点検に有効な手法だと感じました。視覚的にもインパクトがあったと思います。
〇ノートにまとめ，Jamboard に演習をすることで，時短＋知識の定着を図れていました。
〇学習のまとめ，今日の問題のまとめを丁寧に行って，学び方の振り返り掲示を使って４つのポイントで組み入れていて勉強になりました。他教科でも使っていきたいです。
〇学び方の振り返りは，栄スタイルとして取り入れたいと改めて思いました。
〇３つの学び方を挙手で確認する方法は日常の授業においても，活用できるのでよいと思いました。
〇板書にしっかりキーワードが残っていて，子どもたち自身でしっかりまとめができていました。
〇「こうすればわかりやすい！」というやり方を子どもたちが自分で見つけるためにも，このような振り返りは必要だなと感じました。

④その他

〇ICT を活用することで図をかいたりする時間を，考えを深める時間に活用できるので，考えを伝え合う時間の確保につながると感じた。お忙しい中，授業を見せていただきありがとうございました。
〇定着の「１－3/5」の存在が，すごく素敵だと思いました。あの子どもたちが，「ん？」となった瞬間をどうつくるのか？というのが，授業づくりの一番面白いところだなあと思います。とっても色々なことに気づかせてもらえる機会をありがとうございました！
〇子どもたちが集中して授業に参加していました。子どもたちの発言を上手に取り入れて自然にねらい通りに進められるなど，平野先生の授業内容もプロだなと感じました。
〇動作の指示，場面の区切りがはっきりとしていて，メリハリ感のある授業であったと思います。
〇３年生で，タブレットを使いこなしている子が多く，とても有効的に使えていたと思います。
〇平野先生の板書と，全体を見てすぐに内容を理解できる Jamboard のバランスが良かったです。
〇机上の整理やタブレットとノートの切り替えなど，ていねいに指導してしっかり子どもたちができていて，すごいと思いました。
〇タブレット上と同じ図を黒板掲示としても準備されていて，きめ細やかな指導で素敵だなと思いました。
〇最後，１＝□/□が分からない子が多く，復習に戻って指導していて，「大事だよな」と思いました。
〇説明をする学習問題において，教科書通りに自分も練習問題で計算のみを提示していましたが，練習問題でも説明をする活動をして，授業のつながりが感じられ勉強になりました。
〇練習問題は確認する要素もあると思いますが，本時の既習事項でも難しいなと感じ，次時につなげていく練習問題の在り方もあるのではと感じました。説明することに焦点化した平野先生の高度な授業設計だからこその感じられた点でした。お忙しい中のご実践ありがとうございました。
〇子どもたちが落ち着いた環境の中で，意欲的に学習している姿を見て，日頃の学習指導と，学級経営の成果を感じました。
〇初めから終わりまで，子どもたちがすごく楽しそうに，そして意欲的に学習に取り組んでいました。平野先生が優しく受け止めてくれる安心感と，藤原先生が全体を見守ってくれている安心感で，子どもたちがのびのびしていました。
〇今日の問題のまとめ→どの問題にも使えるまとめ，すごく大事だなと思いました。
〇タブレットを使いつつ，大事なポイントはノートにまとめる，デジタルとアナログの活用を勉強させていただきました。

☞お忙しい中，大変ありがとうございました。そして，お疲れ様でした。子どもたちが生き生きしていましたね♡